

視聴覚教育

パソコンの普及小学校配置と実技研修

視聴覚ライブラリー運営委員会

副委員長 河合 憲一

このたび全市の小学校にパソコンR-50が配置され、これ
で本市の小中学校は100%の普及となった。全国平均で小
学校二・一%、中学校一三・八%の普及率（昭和六十年調査）
であることから見れば、まさに画期的と言わざるを得ない。

しかし、問題はこれからである。パソコン本体と共に搬び
込まれた、各種のフロッピーディスクや膨大なマニュアルの
類をみて、目を輝かせた先生と大きな溜息をついた先生と、
この二極的な現象は、恐らくどの学校でも見られたのでは
ないかと思う。他の機器に比べパソコンは
好嫌の差が大きい。のめり込む程に熱心な
人と全く無関心の両極端で、中間的な存在
はあまりない。これはパソコンの宿命で、

やり始めれば病み付きになる反面、初心者



NO
137

発行日 11. 2
62.

発行

岡崎市AVL

編集

広報委員会

には新しい物への畏怖感や複雑な操作システムなど、始めか
ら克服しなければならぬ事柄が多過ぎて意欲をそがれ、全
く興味のわかない機械だからである。この壁はかなり厚い。

そこで今後CMI、CAIなどの教育利用を図るためには、
こうした初心者に属する先生方を対象にした、校内現職教育
のあり方が重要なポイントになってくる。例えば、操作に熟
達した先生を中心にチームを組み、マンツーマン方式の伝授
により（マニュアルと首っ引きの独学ではとても得られない）
修得時間の短縮や効率化を図るなど、初心時の厚い壁を破る
工夫を講じていくことが、当面最も大切な事であろうと思う。

パソコンの活用を！

九月末、小学校三十七校に十六ビットパソコンが各一台ず
つ設置された。すでに昨年小学校四校に設置されており、こ
れで、すべての小学校に導入されたことになる。

特にこのパソコンは、処理速度が早く、専用ワープロソフ
トを活用した文書作成や、教材作成支援ソフトをつかって多
様な教材製作が容易にできる。

九月末の三日間にわたる講習会に参加された先生を中心に、
各校で伝達講習会を開き、先生方一人ひとりが、新しい時代
の教育要請に対応できる力を身につけてほしいものである。

旧児童会云々活動と歩む校内放送

山中小学校 夏井行男

本校での校内放送は、児童会活動と共にあって、

さまざま活動のなかでの生き生きとした児童の姿を映し出して、明るく楽しい学校生活を築く。

放送担当児童の知識・技能や態度の向上を図る。

ことをめざして、放送委員会が中心になって行っている。

月曜日の「お昼の放送」では、各委員会の児童が制作する

映像による広報活動の場を、放送委員会が援助をしている。

図書委員会の「図書館の使い方」、保健委員会の「たいせつ

な歯」、理科委員会の「自由研究の進め方」、美化委員会の

「掃除道具の整頓」、生活委員会の「あいさつ運動」など

は、その一例である。

給食中の放送ということで、給食指導

との兼ね合いや放送委員の昼食の取らせ

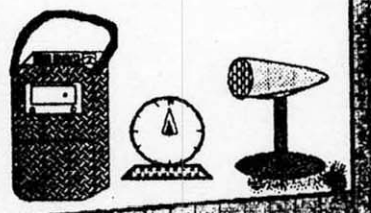
方などの問題もある。

教師が「静かに視聴せよ。」と大声を

張り上げることなく、児童自らが目を

見張り、耳を傾ける放送にしたいもの

思っている。



パソコン講習会に参加して

大門小 藤野美鈴

『パソコン』よく聞く言葉だが、見るのは初めて。その上、フロッピー、ディスプレイなどの横文字が数多く出てきて、頭はパンクしそうでした。講師の方の言われるままキーボードを押さえていくことで精一杯でした。しかし、あるキーを押すと絵が描けたり、色付けが出来たりすると、驚きと同時に興味が出てきました。最初は苦痛だった講習会でしたが、最終日には、自らキーを押していました。

私の力量では、教材作成など出来ないのですが、まずワープロ操作に慣れることだと考えています。そして、パソコンをただの箱にしないようにしたいと思います。

（小学校）修学旅行用、フィルム・スライド、巡回

十一月下旬から始まる修学旅行向け（京都・奈良方面）の教材を11月2日～11月17日の間、巡回します。事前指導等、多くの活用をお願いします。

*16ミリ映画フィルム B K 81「学習の旅ー京都ー」

B K 82「学習の旅ー奈良ー」

*スライド 「奈良・古寺の旅」60枚（テープ付き）

「京都・古都の美」80枚

ライブラリー